

---

# リハビリテーション天草病院だより

---

2019年4月

No. 90



発行 埼玉県越谷市平方343-1 / (医) 敬愛会広報委員会

---

## 当院の本年度目標について

医療法人敬愛会理事長 天草 大陸

1989年を元年とする平成時代が、いよいよ幕を閉じます。5月から令和時代の始まりです。医療・介護界にとっても大きな節目となると言われています。偶然の一致ですが、10月から消費税が2%増となり2012年から進められてきた社会保障・税一体改革が完了することに象徴されています。この様な時にこそ、今一度、法人施設の地域で果たす役割や機能を明確なものとし、しっかりした中・長期計画を立て、年度を重ねる毎に、充実発展深化を図らなければならないと思います。

今号では、紙面の都合から病院1施設のみについて、本年度の目標を説明させて頂くことにします。老健、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリなどの他施設は省略します。

病院(175床の全床が回復期リハビリ病棟入院料1を、更には、医師数を多く必要とする体制強化加算などを算定)は、幸いにして、順天堂大医学部長・脳神経内科教授の服部信孝先生、順天堂大リハビリ科教授の藤原俊之先生、獨協埼玉医療センター／リハビリ科准教授の大林茂先生などの高名な先生方のご指導を頂き、全国のリハビリ病院の中でも、治療成績は最上位ランクに属し、職員一同のリハビリに対する「意気込み」は相当なものであると自負しております。また、鼻腔栄養または胃瘻からの栄養注入を実施している患者さんに対するリハビリで経口摂取のみである状態に回復した患者さんの割合は50%以上の治療成績を上げており、これも全国最高位レベルにあります。これらの治療成績を更に向上

させ、名実ともに「リハビリリと言えど当院である」と患者さんから選ばれる病院となるよう次の目標を掲げました。

### 2019年度病院目標

#### ブランド特化のさらなる推進

- ①前方連携先との連携の推進
  - ・急性期病院のニーズの把握と連携強化に向けた取り組み
  - ・新たな連携強化策の試行および検証
- ②シームレスな退院支援と後方連携の強化
  - ・患者・家族のニーズに応えた退院支援の推進
  - ・退院後のリハビリサービスの充実
  - ・後方連携先のニーズの把握と連携の推進
- ③質の高い医療・介護サービスの提供
  - ・実績指数等の診療実績のレベルアップ
  - ・患者・家族が納得・満足するサービスの提供推進
  - ・地域に根差した活動の強化
- ④組織全体の課題達成能力の向上
  - ・人材育成と自己啓発の推進
  - ・緊密なチーム間の情報共有と連携の強化
  - ・やり甲斐のある職場づくり
- ⑤研究活動の推進
  - ・先端リハビリ技術に関する調査・研究
  - ・ニューロリハビリ構築に向けた研究
  - ・他部門・他施設との共同研究の推進
- ⑥業務効率の改善
  - ・院内及び法人内各事業所間の業務連携推進
  - ・リスク管理の強化と効果的な是正処置の実施
  - ・院内のシステム化推進継続

## ボトックス外来って何するの？

リハビリテーション天草病院 秋元 祐子  
(リハビリテーション専門医・総合内科専門医)

当院では、脳卒中などの後遺症である痙縮(けいしゆく)を治療する「ボトックス外来」を実施しています。

### <痙縮とは>

痙縮とは脳卒中の後遺症として手足がこわばったり、つっぱったりすることです。主な症状は、手の指が握ったままで開きづらい、肘が曲がり伸びづらい、足の先が足の裏側の方へ曲がってしまう、などです。また、痙縮はリハビリテーションの障害となることもあり、痙縮による姿勢異常が長く続くと、筋肉が固まって関節の運動が制限されてしまう「拘縮(こうしゆく)」という状態に陥ってしまうこともあります。この状態になると、日常生活に大きな支障をきたしてしまいますので、痙縮への対応が重要になります。

### <治療について>

痙縮でつっぱった筋肉の緊張を緩和するのがボツリヌス療法です。ボツリヌス菌が作り出すたんぱく質から作った薬「ボトックス」を細い針で数か所、筋肉に注射します。この薬には、筋肉を緊張させている神経の働きをおさえる作用があるため、手足のつっぱりによる筋肉の緊張をやわらげることができます。

注射部位は患者さんによって異なりますが、一度に数ヶ所注射する場合もあり、治療時間は約30分です。ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。治療により次に述べるような効果が期待できます。

- 手足の筋肉がやわらかくなり、関節の曲げ伸ばしがしやすくなると、手が洗いやすくなったり、下肢装具がつけやすくなったりします。
- リハビリテーションを行いやすくなります。
- 痛みをやわらげる効果が期待できます。
- 着替えの補助、衛生ケアがしやすくなると介助の負担が軽減できます。

治療の効果は注射後から徐々にあらわれ、通常3ヵ月～4ヵ月持続します。その後、効果は徐々に消えてしまうので、治療を続ける場合には年に数回、注射を受けることになります。ただし、治療効果や持続期間には個人差があるので、病状に応じて治療計画を立てていきます。施行後には、必要に応じて当院外来でリハビリを実施します。

### <費用について>

ボトックス注射は保険適応となります。通常1割～3割負担で治療が受けられますが注射を施行する部位や、範囲によって費用が異なります。

※治療を希望される方は、当院までご連絡頂き、診察の予約をお取りください。  
予約制：第2・4月曜（午前）  
担当医：順天堂大学リハビリテーション科  
教授 藤原俊之先生  
問合せ先：医療法人敬愛会  
リハビリテーション天草病院  
TEL 048-974-1171

## 「今、想うこと。明日へ！」

さいたま市 黒川 善巳

平成30年8月30日夕食が終わり早めの寝床についた深夜、病魔が私を襲い急性期病院に救急搬送され脳梗塞の診断を受けました。後遺症として、軽い左片麻痺と重度の嚥下障害が残り、早期リハビリが必要とされ病院より色々なリハビリ病院を紹介されましたが、病院スタッフの意見や家族が実際に訪問し相談室で担当の方と天草病院のリハビリ治療内容や設備、生活環境などの説明を受け色々な話を聞き、嚥下治療が強いと言うことで浦和の自宅から遠いですがお世話になる事を決めました。平成30年9月19日天草病院に転院する事になり移動中の車の中で私は本当に回復するのかと考えながら車窓から見える風景が暗く重く、どんよりとしていた事が頭に残っています。病院に到着後、直ぐに色々な検査を行い病室に入ると、まもなくして私を担当して下さる医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の方々の紹介があり、その日の内にリハビリが始まり、今も続く病魔との長い闘いがスタートしたのでした。日にちがたつにつれて現実を知ることになり、病魔は私の予想を大きく上回る事態でした。食事はもとより、水分も口から取ることが出来ず、鼻から経管栄養と水分を摂る日が続き、絶望と喪失感で心が幾度も折れそうになりました。私の仕事は調理士ですので食事が口から摂れないと言うことは、私の大好きな料理を作成しお客様に食べて頂き喜んでもらうと言う人生の目標を失うことを宣告された様なものでした。毎日、リハビリが繰り返し続き一ヶ月、二ヶ

月と過ぎ病状もなかなか良くなり本当に治るのかと何度も病室のベッドで寝ながら考えたものでした。明日は大丈夫かと！翌日に行うリハビリ中にセラピストに不安や悩み事を色々話し、相談するとしっかりした口調と笑顔で答えてくれました。「時間は少しかかりますが、必ず回復して仕事に復帰出来ますよ」と言って頂き、「その為に私達セラピストも全力を尽くします」と暖かく力強い励ましの言葉を受けました。その励ましの気持ちは、今までの人生でも心に残る有難い言葉でした。また、担当セラピストの女性が「私達は天草病院に来る患者さん方のこれからの生活を支えることがやりがいと思って毎日過ごし接しています」と聞きました。この様なセラピストに出会えたことは、病院生活を送る中で頼もしく、力強く私の心に響きました。朝から夕方まで日々のリハビリが続く中で理学療法士、作業療法士、言語聴覚士により色々な技法や手法の治療を受けながら私も与えられた5～6種類の自主練習を毎日欠かさずリハビリの間に黙々と行いました。セラピストの力や自主練習の努力もあり、私の誕生日に経管が取れ、ミキサー食が始まり水分も口から摂ることができ、その時の様子を写真で家族や友人達にメールで送りました。家族や友人達から最高の誕生日になったねと、とても喜んでくれたことが最高のプレゼントとなりいつまでも心に残る思い出の日となりました。その後、食事は小刻み食となり時間はかかっていますが順調に回復していると思います。まだまだ病魔と闘うリハビリが続きますがセラピストの力をかりて負けないように明日に希望をもって全力で進んでいきます。

最後になりますが、主治医の先生、朝から夜中まで患者を診て容態を見守ってくれた看護師の皆様、本当にありがとうございます。病状が良くなった時に「良かったですね

おめでとう」と暖かい言葉をかけて頂いたスタッフの皆様に厚くお礼を申し上げます。改めて明日は大丈夫、多くの人達が支えてくれるから。（投稿日 平成30年12月14日）

## 「訓練の成果が 出ることの喜び」

春日部市 北堀 花代

この文章を書くにあたり天草病院の医師・看護師並びにリハビリの先生方・その他見えない所で働いているスタッフの皆様にご敬意と感謝の気持ちを込めて厚く御礼申し上げます。

12月9日師走の慌ただしい中、大腿骨骨折により救急入院そして手術と、ただただ痛さとの闘いだっただけ約一週間のことは殆ど覚えていません。手術後に救急病院でのリハビリが始まり10日ほど続きましたが、1日30分程度の軽いものでした。痛みが少しなくなり傷の治療としては完了と言うことで、本格的にリハビリをするため天草病院に転院して来ました。さすがにリハビリ専門病院と言うことで、前の病院とは違い1日3時間とハードスケジュールでした。最初の頃は、自分の足なのに右と左のどちらを出せば歩けるのか考えながらもなかなか一歩が踏み出せずやっとの思いで何とか歩いた、と言うよりは足が動いたという程度でした。歩行訓練の時は自分から避けることが出来ないの、前にいる人に「どいて！どいて！」と思いながら道を空けてもらい、少し偉くなった気分でした。リハビリが進む中で少しでも進歩が見えると「頑張ったね、上手になったね」と我が事のように喜んでくれて、自分の中でもそれがやりがいになり痛みも忘れて笑っているうちに3週間ほどで杖だけで歩けるようになりました。そんな看護師さんの優しい笑顔に励まされながら、楽しいリハビリの日々でした。入浴の時も「天草温泉は良いでしょう」なんて言いなが

ら笑顔で世話をしてくれました。そして訓練を重ねるうちリハビリ室への移動も、車椅子から歩行器そして杖のみへと進歩していきました。その杖さえも無くて歩けることを目標にして、長いトンネルの向こうに我が家への帰宅という希望の光を追って日々頑張っています。最初はどこまで復帰できるのか全く分からない状態でしたが、自力で歩けるようになったのは訓練して頂いた病院の皆様の大きな支えがあったからと改めて感謝申し上げます。（投稿日 平成31年1月28日）

## 感謝の声（投書箱より）

主人が病のため入院して数ヶ月が過ぎ想定外の人生に最初は家族としてもどう受け入れれば良いのか随分悩みました。でも先生方、スタッフの方の温かい指導、励ましの声掛け、笑顔、挨拶等、日々接していくうち、本人も家族も前向きに明るい生活を送っていきけるようになりました。感謝以外ないのですが、どうぞ病院の皆様がまた新しい患者の人々に希望と明るい未来を与えてくださいますようお願いいたします。

(A病棟 患者様家族より)

転院して主治医の先生や看護師さんが面会時に色々な情報や様子を教えてくれるので、当初はビックリしました。アットホームでフレンドリーな空間と対応でとても安心してます。本人にもいつもたくさん声を掛けて頂きありがたいです。面会時には看護師さんはもちろんリハビリの先生方も様子を話に来てくれるのでリハビリの進み具合も分かり、見られない時も様子が伺えます。また、お祝いのサプライズにもただただ感謝です。ありがとうございます。

(B病棟 患者様家族より)

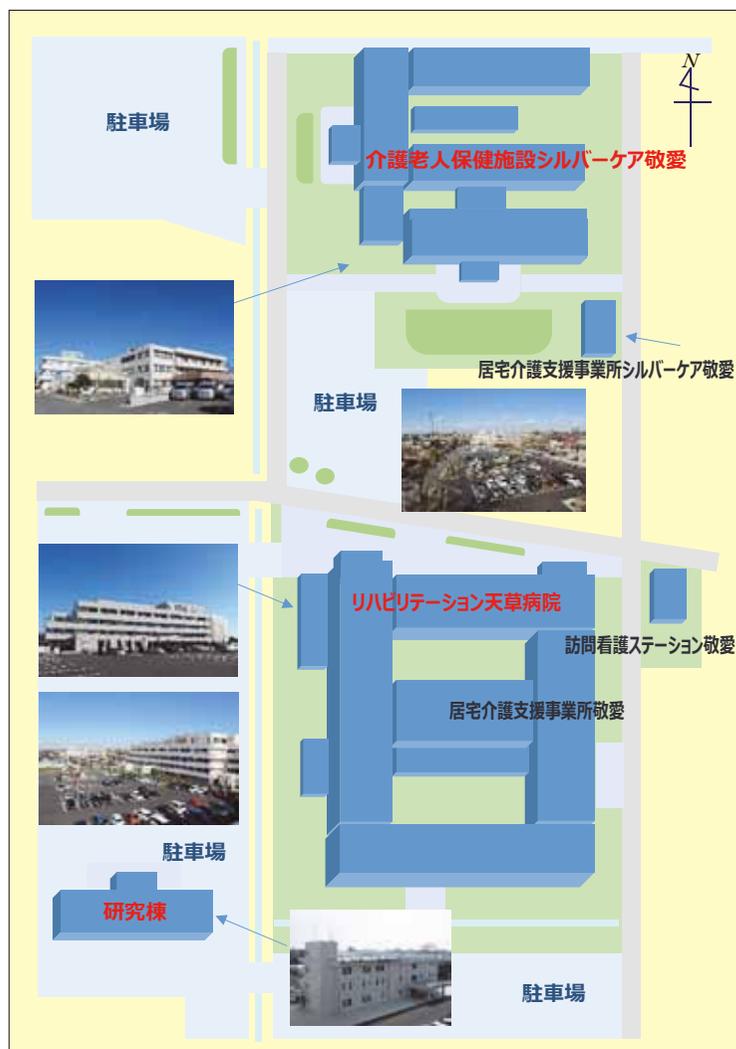
## 当法人の建物等の配置と病院増改築工事について

リハビリテーション天草病院 事務長 大塚 尚行

約3年半かけての病院増改築工事が平成31年2月に完成しましたので、主な工事箇所と併せて当法人全体の建物等の配置をご紹介します。今回の工事は、病院東・北棟の建替えと南棟の病室を中心に改修を行い、病室の

約7割や歯科診療室、相談室などを全面的にリニューアルし、更に質の高いリハビリ医療を提供するためにリハビリ訓練室を拡充させました。今後も快適な療養環境の整備に努めていく所存ですのでご期待ください。

### 【当法人の建物等配置図】



#### ■ 総敷地面積

28,597 m<sup>2</sup> (8,665 坪)

※ 駐車場：500 台 駐車可

#### ■ 建物床面積

リハビリテーション天草病院

1 階 2,809.18 m<sup>2</sup>

2 階 2,685.80 m<sup>2</sup>

3 階 2,700.06 m<sup>2</sup>

4 階 2,320.40 m<sup>2</sup>

5 階 608.12 m<sup>2</sup>

---

延床面積 11,123.56 m<sup>2</sup>

介護老人保健施設シルバーケア敬愛

1 階 1,962.43 m<sup>2</sup>

2 階 1,429.54 m<sup>2</sup>

3 階 1,429.54 m<sup>2</sup>

---

延床面積 4,821.51 m<sup>2</sup>

【病院増改築工事の主な箇所】



東棟



北棟



1階：外来・通所専用 リハビリ室



2階：入院専用 言語療法室ゾーン



2・3・4各階：東棟 病室



1階：嚥下造影検査室



北棟 歯科正面入口



1階：歯科受付・待合室

## 編 集 手 帳

✦皇太子さまが即位される5月1日より元号が「令和」に改められることが決定しました。大多数の国民が歓喜しています。

✦この決定を受けて各政党の党首が意見を述べています。共産党の志位委員長は「元号は君主が空間だけではなく、時間をも支配するとの思想に基づいたものだ。憲法の国民主権の原則にはなじまない」と意味不明なことを述べ、社民党の又市党首は「元号は象徴天皇制になじまない」と訳の分からないことを指摘した上で「令は命令の令。安倍政権の目指す国民への規律や統制の強化がにじみ出ている」と語っています。

✦元々、彼らの党（一部、その他の野党議員を含む）は、口には出さないが象徴天皇制をはじめ現代日本の有り様を否定した「護憲」を叫ぶものの実際は「改憲派（天皇条項は廃止、9条は厳守など）」で多くの日本の伝統

や文化を認めない連中であると私は理解しているので驚きもありません。しかし、彼らの日頃の言動が国民に与える悪影響は計り知れないものがあるので看過できません。国民の中には「国家の有り様」に無関心な人達が段々増えてきています。そのような人達に対する巧みな感化活動は目に余ると思うからです。国旗・日の丸や国家・君が代を一切認めないことはよく知られています。

✦思想的に親密な関係にあるはずの中国や北朝鮮などの共産主義の国々には何も物申しません。北朝鮮の拉致問題しかり、中国の軍拡問題しかり、数え上げればきりがありません。彼らは、目の前にある諸懸案を解決するために今の政権に力を貸そうという考えは毛頭ないと疑ってしまいます。いや、国民を知らず知らずの間に、彼らの思想を植え付けることに熱中しているのだと、ついつい考えたくもなります。私の独り合点であれば幸いです。

（理事長天草大陸）

## 当法人施設が取得する第三者評価認証

患者さんが病院を評価するには、その病院自身の「自己紹介」も参考になりますが、第三者の評価も重要です。当院では「病院機能評価機構」と「ISO」の認証を取得しています。

なお、老人保健施設でも「ISO」の認定を受けています。



### 表紙のことば

この作品は、入院患者様が余暇の時間を利用し作成した「桜のブーケ」です。日に日に暖くなる中で、患者様とも季節の変わり目を感じるような会話が増えました。ブーケは花びら1つ1つを患者様が折り、つなげる作業をスタッフがお手伝いしました。完成するにつれ「すてき!」「きれい!」という声が聞かれ多くの患者様が集まる中、温かい会話が弾む楽しいひと時となりました。

（B病棟スタッフより）